



MSW ニュース No.143号

発 行：沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 広報部
編 集：北部地区医師会病院 宮城 郁美
事務局：沖縄県総合福祉センター 西棟 2 階 小規模団体室
〒903-8603 那覇市首里石嶺 4 丁目 373-1
TEL ; 090-3790-2756 FAX ; 098-893-1221
E メール ; jim.msw.oaswhs@gmail.com

回覧などの際はプリントアウトなどしてください

目 次

・実習生受入報告	2 p
・新入会員紹介	2～3 p
・ゆたしく うにげ～さびら	3～4 p
・トピックス（琉球新報「福祉の窓」掲載済記事）	4～5p
・各部会からのお知らせ	6～7 p
・理事会議事録	8～11p

＜ 休 載 ＞

- ・研修報告
- ・入退院支援連携デザイン事業報告
- ・自主勉強会報告

実習生受入報告

中部徳洲会病院 医療福祉相談室 與儀 篤

当院では、ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱの学生を受け入れています。急性期病院における医療ソーシャルワーカー(MSW)の実際の業務を通して、ソーシャルワークの専門性を学んでもらえるようにこころがけています。

実習では、緊急入院された患者さんへの初期対応や、退院に向けた面談への同席など、現場に立ち会ってもらう機会を設けています。その中で、私たちソーシャルワーカーがどのような視点や考え方をもって支援に関わっているのかを、伝えるようにしています。

また、介護保険や医療保険をはじめとした制度についても、説明する時間を設けています。院外の活動としては、家屋調査や転院搬送・送迎などがありますが、タイミングが合えば同席してもらっています。可能な限り多くの場面を経験してもらい、ソーシャルワークの幅広さを知るきっかけになればと考えています。

それぞれのMSWからも担当する支援について説明したり、実際に関わってもらったりすることで、支援者としての考え方の違いや、それぞれが抱える悩み、工夫などを知ってもらいたいと思います。

実習生を受け入れることは、私たちにとっても自分たちの業務・実践を振り返り、専門性を見つめ直す機会になっています。これからも、実習を通じて得た気づきを糧しながら、未来的のソーシャルワーカーが生まれるきっかけとなるようなお手伝いができればと考えています。

新入会員紹介

沖縄協同病院 地域連携課 宮沢すず

今年の4月より大浜第二病院から沖縄協同病院に入職いたしました、宮沢すずと申します。入職して2週間ととても間もないのですが、急性期病院ならではのモニター音や点滴棒を掴み病棟を歩かれている患者様、聞いたことの無い疾患名や患者様の入退院のスピード、感じたことの無い病棟の雰囲気に毎日驚きと新しい気づきに胸を高鳴らせてています。

以前は回復期病棟を担当させていただいていた為、急性期病院は治療を目的としている病院だと改めて感じさせられている毎日です。これから連携室の先輩方を初め、院内の先輩方からご指導をいただきながら、MSWとして日々精進して参りたいと思います。

当協会には昨年度から入会させていただいている。全体研修やめだかの学校にも積極的に参加し毎度毎度新しい学びと、他病院との定期的な交流の場に貴重な経験をさせていただいている。

今後皆様と連携を取らせていただく機会があると思いますが、その際は何卒よろしくお願ひいたします。

ゆたしく うにげ～さびら

医療法人以和貴会 西崎病院 地域連携室 真壁政也(他 MSW)

1. 西崎病院 理念

私たちは“和”を大事にし、全職員が共感し患者様と地域に質の高い医療・看護・介護を提供することを約束します。

基本方針

○患者様第一主義

患者様へ心のこもった医療サービスと、そして満足と安心を提供することをもつとも大切な使命と心得ております

○地域への貢献

地域交流および周囲の医療・福祉機関との連携を行い、地域・在宅医療、リハビリテーション、予防医学の推進を支援していきます。

○志を実現する職場環境

職員ひとりひとりの個性と能力を尊重し、持てる才能を育成し最大限に伸ばすことのできる“喜ばれる”職場環境を育む努力をしていきます。

2. 西崎病院 概要

病床数 150 床(一般 26 床 包括 4 床 医療療養 120 床)

3. 地域連携室について

現在、ソーシャルワーカー5名 看護師1名の6名体制

昨年4月に就任した山城清二病院院長が地域連携室長となり相談しやすい体制となりました。また今年4月より病棟担当 MSW 制をスタートし療養病棟からの退院支援に力を入れ、地域に根ざした病院を目指していきます。当法人は関連施設が多く、ケアマネや訪問看護、訪問診療医、特養・老健、有料ホームなどの職員も日々顔を出してくれて、情報交換がしやすい環境です。

今年秋頃に、ウェルネス西崎病院(旧白銀病院)と合併予定です。さらに賑やかな環境になる予定です。その際には再度こちらで紹介させて下さい。

直通電話 098-880-0219

直通FAX 098-800-2623



トピックス

介護保険、速やかに利用したい。64歳9ヶ月から申請可能

琉球新報 福祉の窓 2025年2月22日掲載済
(沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 大城将平)

質問

64歳の夫がけがで入院しており介護が必要となりました。介護保険にて車いすをレンタルしたいのですが申請は65歳からと聞きます。なるべく速やかに利用したいのですが、どのような準備を進めたらよいでしょうか？

回答

介護保険制度が適応される対象は65歳以上の方(第1号被保険者)と、16種類の特定疾病に該当する40歳から64歳までの医療保険加入者(第2号被保険者)となっています。従って、旦那様が特定疾病に該当しない場合は65歳以上からの制度利用となります。

しかし65歳未満であっても、介護を要する状態にあり、介護サービス等の検討が必須で速やかに介護保険サービスを利用する必要がある場合には、資格取得前の誕生日の3か月前(64歳9ヶ月に到達した日から65歳の誕生日の前々日まで)に認定手続きを進め、資格取得と同時に認定を受ける事ができます。

事前申請時には資格の確認(被保険者証の到着前に申請する際には健康保険証の提示)が必要で、申請窓口は各市町村の介護保険担当、または地域包括支援センターです。また介護保険サービスを利用するには、介護支援専門員(ケアマネージャー)との契約や、どのサービスを利用するか(福祉用具・デイサービス・訪問介護など)などを決める必要があり

ますので、事前申請と合わせて介護支援専門員と一緒に支援計画を検討されるとよいでしょう。

介護保険認定までの間、自己負担にて車いすをレンタルする方法もございますので、退院される時期など含めて病院の医療ソーシャルワーカーに相談されるのもよいと思います。

自宅で最期を迎えるためには「人生会議」で想い共有

琉球新報 福祉の窓 2025年3月22日掲載済
(沖縄県医療ソーシャルワーカー協会 德盛宏賢)

質問

私と同居している70代の父親ががんの診断を受け通院治療中です。父親は以前より「自分の最後は家で迎えたい」と話しています。まだ先のことであると思いますが、今から本人と家族で準備をしていた方が良いことはありますか？

回答

現在の制度では、ご本人の病態や治療内容に合わせて、医療保険制度の訪問診療や訪問看護、身体の介護が必要になった際は、介護保険サービスを利用しながら、ご自宅でのケアを受けることができます。まず、制度の利用については通院先の医師や医療ソーシャルワーカーへお尋ねしても良いかと思います。

また、ご質問にありました、ご本人とご家族で準備をすべきことの一つとして、本人やご家族などの身近な人に、医療従事者などを加えて話し合う「人生会議」があります。

病気やけがによって命の危機にさらされた患者のうち、およそ70%の患者は医療やケアについて自分の希望を他者に伝えることなく、患者自身が受ける医療やケアについて決めることができなくなってしまうと言われています。

「人生会議」とは、ご本人が大切にしていることや、人生の最終段階の時どのような医療やケアを望んでいるかなど、事前に繰り返し話し合う取り組みのことで、2018年に厚生労働省でその愛称がつけられました。

「人生会議」は、必ずしもしなければならないわけではありませんが、本人が「最期は家で迎えたい」と話しているその想いや、大切にしていることを家族や身近な人も含めそれぞれで想いを話し合い共有することで、いざというとき本人が希望する療養やケアにつながると思います。

各部会からのお知らせ

【 研修部 】

研修部たより

■自主勉強会・めだかの学校

対象	対象者: おおむね実務経験3年以下
日時	調整中(開催決定次第、各病院へFAX・グループLINEでお知らせします)
参加方法	事前に下記までお問合せください
内容	自主勉強会
問い合わせ	博愛病院 永井(098-889-4830)

■自主勉強会・めだかのホームルーム

対象	対象者: おおむね実務経験4年以上
日時	① 2025年5月13日(火)19:00~20:30 ② 2025年7月8日(火)19:00~20:30
参加方法	事前に下記までお問い合わせください
内容	事例検討
備考	奇数月の第二火曜日にオンライン開催。 画面オフでも参加OKです！
問い合わせ	沖縄協同病院 兼濱(098-850-7955)

■自主勉強会・めだかの放課後「事例研究について学ぶ～実践を理論的に見る～」

対象	会員のみ
日時	調整中
参加方法	事前申込
備考	開催日決定次第、協会ホームページ「研究案内」で案内
問い合わせ	大浜第一病院 嘉手納(098-866-5171)

✿その他

九州医療ソーシャルワーカー協会教育研修部公式 BLOG

「医療ソーシャルワークサプリ from 九州医療ソーシャルワーカー協議会」更新中！

こちらの QR コードからご覧ることができます



【広報部】

・新企画検討中 アイデアも随時募集中!!

・「ゆたしく うにげ～さびら」(自施設、部署など紹介コーナー)では、

会員所属の病院、施設の魅力を絶賛掲載中!!

掲載希望の方は事務局 Eメールでご連絡ください！

【社会活動部】

2025 年度もマクロの視点を持ち、地域活動やソーシャルアクションを意識します。

よろしくお願ひします。

以下の活動を一緒に行う会員を募集しています。

■ 沖縄県医療保健介護連合(なごみ会)とともに

県民の医療・保健・福祉・介護の向上のために 21 団体が力を合わせて定期的に会議を行っています。各団体が集結する今年の県民健康フェアは 8 月 17 日(日)予定です。

MSW や医療福祉について住民に周知する良い機会となっています。

■ 沖縄県ソーシャルワーカー協議会とともに

県ソーシャルワーカー四団体で定期的に会議を行っています。

①『福祉の窓』(琉球新報・月 1 回土曜掲載)では会員の協力をいただき毎月の投稿をしています。実際にある相談内容は、読者の解決のヒントにつながります。

②ソーシャルワーク学会・社会福祉セミナーは 2 月頃に毎年開催されています。多領域のソーシャルワーカーと地域課題について一緒に考え、学び合う良い機会です。

■ MSW の皆さんとともに

一堂に会する会員同士の交流会は感染予防などで 2019 年を最後に中止となっていました。他機関の MSW の業務内容や特徴について知る機会は少なかったと思います。

組織内で奮闘する MSW 同士がつながるように、親睦会を 8 月頃に検討します。

理 事 会 議 事 錄

2月理事会報

2024年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2025年2月17日(月)19:00~20:00

場所: 中頭病院 & リモート併用 (Zoom)

【出席者】新垣哲治会長、當銘由香副会長、安慶真樹名副会長、秦克之事務局長(司会)、伊禮智則、高江洲アヤ子、長原野、奥平藤也、池間俊、大城将平(連絡)、大嶺洋(書記)、宮城郁美、玉那霸夏汀、オブザーバー:樋口美智子、高澤信哉、嘉手納泉也、兼濱愛里

【委任者】

＜各部報告・協議事項＞

〔研修部〕 以下の報告を受けました

(1) 全体研修 担当: 池間

日程: 2025年1月25日(土)14時~17時

テーマ「記録について生活支援記録法(F-SOAP)」

講師: 国際医療福祉大学 高石 麗理湖 先生 @オンライン開催

事前申込: 31人(会員27人、非会員4人)

参加: 29人(会員: 26人、非会員3人)

(2) 自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

2024年度 第2回 調整中

問い合わせ先: 沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

② めだかのホームルーム 担当: 兼濱 @Zoom 開催

2024年度 第5回 1月14日(火)19時~ 事例提供: 與座さん(大浜第一病院) 参加: 5人

次回 3月11日(火)19時~ 次年度計画

③ めだかの学校 担当: 永井・玉那霸 @ハートライフ病院

2024年度 第4回 3月で調整中 会員同士でそれぞれの病院紹介を行う予定。

(3) 九州協議会関連事業 担当: 池間

1/31 全国研修部の集合会議に参加した。基幹研修1、2のシラバス内容変更あり。web研修+eラーニングも併用していく方向性。

3/8 集合で次年度計画会議

(4)全体スケジュール確認

①定例勉強会(総会抱き合わせ)

日程:次年度総会前の1時間程度

内容:身寄りなし問題(講師調整中)

②初任者研修

・次年度開催スケジュールの提案を受けました。

③ 全体研修

・1/25 開催「記録について生活支援記録法(F-SOAIIP)」を全3回シリーズとして全体研修予定。

〔広報部〕以下の報告を受けました

□MSW ニュース 142号(3月発行予定)、牧港中央病院;小橋川さん

□公式 LINE 登録者数: 159名(前月比:-2名)

□協会ホームページ閲覧数: 1,521件(前月比:+354件)

〔社会活動部〕

特になし

〔事務局〕以下の報告を受けました

□入退会報告

入会届: 0人

所属先変更: 0人

退会届: 0人

□2024年度全国医療ソーシャルワーカー協会会長会会費について確認しました。

<その他 報告協議事項>以下の報告を受け意見交換を行いました

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業

①身寄りのない人への支援ガイドライン作成委員会

・2月7日第2回身寄り委員会

・2月19日第3回身寄り委員会

・出席者確認、ハイブリット配信体制確認

・心得動画のSNS広告の方法

・次年度の事業受託内容の検討

・次年度事業運営体制の検討

・事務職の職務内容の調整、報酬額等の検討

□理学療法士会「令和6年度沖縄県受託事業」の振り返り参加

日時:令和7年3月13日(木)19:00~21:00

□在介コーディネーター会議出席者の調整

日時:2025年2月26日(水)14時~ 県医師会

※次回理事会 2025年03月17(月)19:00~

司会:新垣 書記:大城 連絡:宮城

議事録署名人 新垣 哲治

3月理事会報

2024年度 沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会

2025年3月17日(月)19:00~20:00

場所:中頭病院&リモート併用(Zoom)

【出席者】新垣哲治会長、當銘由香副会長、安慶真樹名副会長、秦克之事務局長(司会)、伊禮智則、高江洲アヤ子、長原野、池間俊、大城将平(書記)、宮城郁美(連絡)、玉那霸夏汀、オブザーバー:樋口美智子、高澤信哉、嘉手納泉也、兼濱愛里

【委任者】

〈各部報告・協議事項〉

〔研修部〕以下の報告を受けました

□(1)自主活動支援

①めだかの放課後『事例研究について学ぶ実践を理論的に振り返ろう!』

2025年度 第1回 調整中

問い合わせ先:沖縄国際大学/樋口、大浜第一病院/嘉手納

②めだかのホームルーム 担当:兼濱 @Zoom 開催

2024年度 第6回 3月11日(火)19時~ 次年度計画 参加:4人

③めだかの学校 担当:永井・玉那霸 @オリブ山病院

2024年度 第4回 3月27日(木) 次年度計画

(2)九州協議会関連事業 担当:池間

次年度計画会議 佐賀大会 11/22(土)13:00~ 11/23(日) 12:00迄

(3)全体スケジュール

①定例勉強会(総会抱き合わせ)

日程:5月21日(水)14時~15時(13時30分~受付開始)

内容:「沖縄被害者支援ゆいセンターの活動について」

講師:沖縄被害者支援ゆいセンターで調整中

場所:調整中

②初任者研修

初任研スケジュール案について報告を受け意見交換を行いました

(5)その他

①広報部への研修掲載依頼

〔広報部〕 以下の報告を受けました

- MSW ニュース：3・4月号（No.142） 牧港中央病院／小橋川さん
- 公式 LINE 登録者数：159名（前月比：増減なし）
- 公式ホームページ閲覧数：774件（前月比：-747件）

〔社会活動部〕 以下の報告を受けました

- 福祉の窓：ハートライフ3/22（土）搭載予定 中頭病院へ依頼予定今週で原稿依頼 4/19
- なごみ会健康県民フェア 実行委員会：

〔事務局〕 以下の報告を受けました

□入退会報告

- 入会届：0人
- 所属先変更：0人
- 退会届：0人

＜その他 報告協議事項＞以下の報告を受け意見交換を行いました。

□沖縄県入退院支援連携デザイン事業

①身寄りのない人への支援ガイドライン作成委員会

→今年の提出はアンケート集計結果まで。策定委員会には今年度送るが、各施設へは次年度送付する。

→アンケート結果では施設は1.2件だったので状況は見えなかった。老健・特養を集めて研修（普及啓発・意見交換会）

→急性期・回復期・地域など、セクションに分けて、身寄りのない方の支援事例を交えて勉強会を行う。

□次年度総会について

- ・日程：5月21日（水）で確定 総会用の資料は4/14までに提出

□「令和6年度沖縄県受託事業」振り返り会議（大城）

- ・アドバイザリー事業は今年度7案件対応の報告あり

- ・他職種コンソーシアム実践研修会

□なごみ会の実行委員会が4/9に開催。担当高江洲

※次回理事会 2025年04月21(月)19:00～

司会：當銘 書記：宮城 連絡：高江洲

議事録署名人 新垣 哲治

☆ 編集後記 ☆

先月の年度末の慌ただしさから一転。今年も各部署に新入職員の介入があり。我が部署は相変わらずの顔ぶれですが、各部署に新しい風が吹いている事に感化されて、改めて自分自身の仕事に向き合う気持ちを入れ替えていきます。季節の変わり目でもあるので、焦らず1日1日を過ごしていく様に、新緑を眺めながら、仕事の合間で一息ついている今日この頃です。

MSW 協会 公式 LINE 加入のご案内

協会名を検索して「友だち追加」で完了！



<https://www.msw-oaswhs.jp/>



～医療と福祉の架け橋～ 一般社団法人
沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
Okinawa Association of Social Workers In Health Services